

令和4年度 第3回 久留米市国民健康保険運営協議会議事録

1 日 時 令和5年1月25日(水) 13:30~14:30

2 場 所 久留米商工会館 5階 大ホール

3 出席者 (委員)

区 分	氏 名	出欠
公益代表	田中 功一	○
	南島 成司	○
	吉武 憲治	○
	大熊 博文	
被保険者代表	中村 愛	
	藤吉 ちよか	
	古賀 香代子	
	田中 真知子	
保険医又は保険薬剤師代表	植田 省吾	○
	首藤 俊介	○
	富田 裕輔	○
	満安 徹也	○
被用者保険等保険者代表	大淵 工	○
	権藤 裕子	○

※リモートでの出席者含む

(事務局)

健康福祉部 部長	宮原 義治
健康福祉部 次長	川崎 勝之
健康保険課 課長	星野 正和
健康保険課 主幹	千代島 智昭
健康推進課 課長	柴尾 晴信
地域保健課 課長	三浦 圭史 他

(傍聴者)

なし

4 質疑要旨

諮問事項説明			
(1) 令和5年度国民健康保険事業費納付・標準保険料率の本算定結果について 質疑なし			
(2) 令和5年度保険料率に関する制度改正について 質疑なし			
(3) 令和5年度久留米市国民健康保険料率等について（諮問内容） 質疑なし			
審議			
(1) 令和5年度久留米市国民健康保険料率等の諮問			
① 保険料率等について			
委員	了承する。後期高齢者支援金等分が高くなったという説明だったが、団塊の世代の後期高齢者医療制度移行による影響とのことであるのでやむを得ないと思う。今後、後期高齢者は増加していくので、現在の保険料率とするのが順当であると考えます。		
委員	了承する。現在、余剰金が20億円ほどあるという説明だったが、将来的にはこの余剰金がなくなる可能性もある。そのようなときにどのような対策を行っていくのか考えがあれば聞きたい。	事務局	現在のところ、余剰金があるという状況ですが、今後、財政状況が悪化していくと余剰金も減って参りますので、十分に収支状況を見ながら対応について判断していきたいと考えています。
委員	賛成する。私たちの職場でも、医療費を減らす取り組みを行っている。こうした取り組みは、保険料を下げることに繋がってくると思う。健診結果をもとに早期発見・早期治療に努め、保健師相談の機会を利用して、医療費の適正化を図り、保険料が上昇しないようにしていくこと重要である。		
委員	異議なし。一人あたりの納付金の金額が県内で13番目に高いとのことだったが、高くなる要因はあるのか？	事務局	納付金は、医療費水準と所得水準によって算定されるため、これらの要素により、久留米市は現在の納付金の金額となっています。

委員	高度医療が可能な大きな病院があるといった要因により医療費負担が多いということか？	事務局	久留米市は高度医療が受けられるという環境にはありますが、それが直接的な要因というよりも、国民健康保険の被保険者全体の医療費によるものと分析しております。
委員	了承する。		
委員	異議なし。		
委員	異議なし。		
		事務局	本日、急遽欠席となった委員3名の方からは、いずれも諮問内容に了承するとのご意見をいただいております。
② 賦課限度額について			
委員	了承する。		
委員	了承する。		
委員	了承する。		
委員	異議なし。		
委員	異議なし。		
委員	異議なし。		
委員	異議なし。		
(2) 附帯意見 意見なし			
その他			
質疑なし			